

## 令和8年度 東京都立片倉高等学校スクール・ポリシー

### ★ グラデュエーション・ポリシー（育成をめざす資質・能力に関する方針）

本校は、学習や部活動等に主体的に取り組み、困難な課題から逃げることなく、他者と協働し、必要な支援を受けながら課題を克服できる生徒を育成する。基礎学力を土台として、自らの進路を主体的に選択し、第一希望の進路実現に向けて努力し続ける力を身に付けさせる。

### ★ カリキュラム・ポリシー（教育課程に関する方針）

本校は、人権尊重の理念を基盤に、生徒一人ひとりの個性や創造性を大切にした教育活動を展開する。ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりを推進し、すべての生徒が学びに参加しやすい教育課程を編成する。

普通科では学習と部活動の両立を支え、都教育委員会の指定を受けた部活動の取組等を生かしながら、主体性と協働性を育む教育活動を推進する。あわせて、1・2学年では普通科・造形美術コースの両方で、Inspire High を活用した探究的な学びと、スタディサプリーを活用した学習支援を行い、課題設定・情報活用・発信の力を育成するとともに、基礎学力の定着と学習習慣の形成を図る。さらに、都立高校における進学指導の業務支援を活用し、外部の講座等も取り入れながら、進路実現に向けた支援を充実させる。

造形美術コースでは、観察・構想・表現の過程を重視し、素材や技法の理解、対話的な鑑賞と批評、振り返りと言語化等を通して、表現を深める基礎的な力を育成する。その学びを通して、制作と展示を一体とした学び（学校の美術館化）を展開し、新たな価値を生み出す力と豊かな感性を育成する。

また、国際理解教育を推進し、地域性を踏まえつつ地球規模の視点で物事を考え、行動できる態度を育成する。あわせて、英語4技能を測定する外部検定試験を指定学年で年1回実施し、結果分析を指導改善と目標設定に生かすことで、総合的な英語力の向上を図る。

### ★ アドミッション・ポリシー（入学して欲しい生徒像）

本校は、学習、部活動、生徒会活動、地域・社会活動等に意欲的に取り組み、自らの可能性を伸ばそうとする生徒を求める。これまでの成果のみならず、努力を継続する姿勢や、仲間と協力して活動に取り組んだ経験を重視する。

造形美術コースでは、文化・芸術への関心と表現への意欲を持ち、制作に粘り強く取り組もうとする生徒を求める。